

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 23 年 12 月 15 日 (2011.12.15)

【公開番号】特開 2010-124235 (P2010-124235A)
【公開日】平成 22 年 6 月 3 日 (2010.6.3)
【年通号数】公開・登録公報 2010-022
【出願番号】特願 2008-296027 (P2008-296027)
【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 12/28 2 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 1 日 (2011.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シリアルコネクタを備え、入力信号に対して予め設定された通信処理を個別に実行する複数の通信モジュールと、

複数の外部機器が接続される複数の L A N (Local Area Network) コネクタを備えるハブと、

前記複数の通信モジュールと前記ハブとの間に配置され、前記複数の通信モジュールのシリアルコネクタにそれぞれシリアル回線を介して接続される複数のシリアルインタフェースと、前記ハブに L A N 回線を介して接続される L A N インタフェースとを備える接続制御ユニットと

を具備し、

前記接続制御ユニットは、

前記複数の通信モジュールと外部機器との間の接続状態を表す情報を記録するメモリをさらに備え、

前記外部機器から前記複数の通信モジュールとの間の接続要求がある場合、前記複数の通信モジュールのうち非使用かつ正常に稼動する通信モジュールを前記メモリを参照して選択するモジュール選択制御と、

インターネットプロトコルを使用して前記外部機器との通信回線を確立し、前記外部機器と前記選択された通信モジュールとの間を接続する接続制御と、

前記接続された通信モジュールと外部機器との間でデータを転送するデータ転送制御とを行うことを特徴とする通信処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の通信処理装置において、

前記通信モジュールは、現用系と予備系に分類され、現用系に障害が発生している場合、予備系と外部機器との間で通信回線を確立することを特徴とする通信処理装置。